

ボーナス5.2ヶ月死守！！

町田市議会議員の期末手当5.2ヶ月を3.95ヶ月に引き下げを求める』請願は、総務常任委員会で賛成3反対4で「否決」され、6月29日、本会議に於いて、11対23で「否決」されました！！

けなげにも賛成した議員に拍手を送ろう！

白川 哲也 議員 (まちだ新世紀・みんな)

渡辺 巖太郎 議員 (まちだ新世紀・みんな)

市川 勝斗 議員 (まちだ新世紀・みんな)

新井 克尚 議員 (まちだ新世紀・みんな)

渋谷 武己 議員 (まちだ新世紀・みんな)

若林 章喜 議員 (諸派)

佐藤 洋子 議員 (日本共産党)

池川 友一 議員 (日本共産党)

細野 龍子 議員 (日本共産党)

佐々木 智子 議員 (日本共産党)

殿村 健一 議員 (日本共産党)

ちなみに、本会議でボーナス5.2ヶ月死守の議員は...

松岡みゆき議員 (自由 民主)

三遊亭らん丈議員 (自由 民主)

大西のぶや議員 (自由 民主)

いわせ和子議員 (自由 民主)

佐藤伸一郎議員 (自由 民主)

森本せいや議員 (民主・社民・ネット)

わたべ真美議員 (民主・社民・ネット)

河辺康太郎議員 (民主・社民・ネット)

田中修一議員 (民主・社民・ネット)

佐藤和彦議員 (民主・社民・ネット)

戸塚正人議員 (民主・社民・ネット)

斉藤祐善議員 (民主・社民・ネット)

谷沢和夫議員 (民主・社民・ネット)

山下てつや議員 (公明党)

上野孝典議員 (公明党)

宮坂けい子議員 (公明党)

おく栄一議員 (公明党)

あさみ美子議員 (公明党)

熊沢あやり議員 (志政クラブ)

吉田つとむ議員 (志政クラブ)

藤田学議員 (志政クラブ)

おさむら敏明議員 (志政クラブ)

友井和彦議員 (諸派)

議員のボーナスだけが、バブルの時のまま放置されてきただけだった！

6月29日の町田市議会本会議での河辺康太郎総務常任委員会委員長の委員会報告は、肝心の論点を外したものでした。6月21日の委員会では、「なぜ、議員の期末手当が5.2ヶ月になったのか？」との白川議員の質問に、「議員の期末手当は、市職員の期末手当にそのままスライドさせて上げてきた。市職員の期末手当が最高時5.35ヶ月の時、議員の期末手当が5.2ヶ月となった。その後、職員のほうは下げてきた。」（市職員課課長）とのことでした。議員のボーナスだけが、バブルの時のまま放置されてきただけ…という事だったのです。であるなら、市長・副市長・職員同様に引き下げるのが常識的な考えではないのかと、率直に思いました。

委員長は、本会議でこの委員会でのこのやりとりに触れることはありませんでした。採決の結果は、圧倒的多数で「否決」されました。

二枚舌の議員が多すぎる！！

選挙の際には公約として、「まず議員の定数や報酬を削減」「議員特権をなくす」とか「行財政改革の断行」「議員定数を15名削減」などと言いながら、現状をみずから公表することも、行動することもなく、問題が発覚したとたん、理由をきちんと述べることもできず、みんなで仲良く「否決」です。

議員は、常日頃、「庶民の立場」「市民の目線に立って」と、口では言いつつも、いざ我が身を削ることに対してはここまで一致団結して、身を守ろうとするものであることを知りました。少子高齢化・経済のグローバル化による雇用の不安等、社会情勢は厳しくなりつつあるところに、追い打ちをかける様に震災不況が加わり、市の財政も厳しい筈です。その気配を察し、率先して引き下げるのが市民目線・庶民目線というものではないでしょうか。

議員の歳費だけは別財布？

被災地・被災者を救済するべし、土・大気・水・食材等の放射能の測定をするべしと、本議会に提出された議員提案は盛りだくさんです。相互扶助は当然であり、市民の安心安全も否定する人はいません。

私達市民が、いま一番気がかりなのは、被災地・被災者の救済も、市民の安心安全も、議員の期末手当も同じ「税金」という一つの財布から出ているという認識が議員に有るのかということです。税収も減り、市の財政も市民の懐も厳しいので、ここは少し我慢をしようという認識が議員にあったなら、もしも同じ財布から出ているという認識があったなら、否決など出来る類の請願ではないと思います。

42万市民の皆さんはどう思いますか？